

【文化学部】2024（令和6）年度 学部教学マネジメント計画書

3つのポリシーに基づいた学修者本位の教育の実現に向けて、学部教学マネジメントに関する以下の観点について各学部で計画・実行・検証し、次年度以降の改善に繋げることとする。

1. 学部における教学マネジメントの組織体制

2021（令和3）年度から、文化学部教学マネジメント運営委員会を設置。令和5年度より、当該委員会規程を制定し、教授会のもと、組織的なマネジメント体制を構築している。構成は次のとおり。
学部長、副学部長、両学科主任、教育支援研究開発センター運営委員会委員、カリキュラム委員長。

2. 体系的かつ組織的な教育課程の編成・実施を支える各ツールの課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題

①カリキュラムマップ

2026（令和8）年4月からの新カリキュラムに沿ったカリキュラムマップの作成

②シラバス

2026（令和8）年4月からの新カリキュラムの教育内容の審議と確認

③その他（カリキュラムツリー、ナンバリング等）

カリキュラムマップ再考に連動したカリキュラムツリー・ナンバリングの再考

今年度の取り組み

カリキュラムマップの作成等、両学科の教育課程について、文化学部教学マネジメント運営委員会における、両学科所属教員協同による組織的な取り組み。

3. 学修成果・教育成果の把握・可視化に向けた今年度の取り組み

課題

出口における質保証および教育の質保証の可視化。

今年度の取り組み

出口における質保証等の可視化に向けた具体策の検討と必要に応じた予算化の検討。

4. 授業科目の到達目標の達成状況および学生の資質・能力の修得状況から明らかになっている課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題

出口における質保証の客観性

今年度の取り組み

上記に関する継続議論と、客観性の担保のための予算化の検討

アセスメントプランの取り組み

アセスメント科目名	検証方法（在学時）
・各演習科目（１～４年次）	■学習成果実感調査 ■GPA
	検証方法（卒業時）
	■卒業研究・卒業論文 ■GPA ■卒業時調査（４年次生調査）

取り組み内容（「８つの資質・能力」の達成方法など）

2026（令和８）年４月からの新カリキュラムにおけるカリキュラムポリシーについて、８つの資質能力の検討を核に、ディプロマ・ポリシー、アドミッション・ポリシーとの三者整合性に関して深化させる。

その他

※この内容は2024（令和6）年度以降、本学における教学マネジメントの一環として、本学HPへの掲載を検討します。